

令和6年度第1回福岡県がん対策推進協議会 議事録

日時: 令和6年10月22日(火)16:00～

場所: 福岡県庁 行政特別西(第1)会議室

※議事録の文章は、実際の発言の趣旨を損なわない程度に、読みやすく整理したものです。

(司会)

定刻になりましたので、令和6年度第1回福岡県がん対策推進協議会を開催させていただきます。

委員の皆様におかれましては、大変お忙しい中、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。

私、本日の司会進行を務めますがん感染症疾病対策課長補佐の柏田でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは開会にあたりまして、課長の石田から、一言ご挨拶申し上げます。

(石田がん感染症疾病対策課長)

皆さんこんにちは。がん感染症疾病対策課長の石田でございます。

本日は委員の皆様におかれましては、大変お忙しい中ではございますけれども、福岡県がん対策推進協議会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

また、日頃から本県のがん対策について、ご理解、ご協力いただいておりますことに、改めて御礼申し上げます。

この協議会において、昨年度は第四期がん対策推進計画について、ご意見、ご協議いただいたところでございます。

この計画に基づいて、本県におきましては、引き続き、いろいろな施策を実施しているところでございます。

本日の議題についてですが、1点目が「がん診療連携拠点病院等の推薦について」でございます。

こちらについては、新規が1点、更新が1点になっておりますのでご協議願います。

それから、報告事項が2点ございます。

まず1点目が「福岡県のがん対策について」、それから、九州大学病院の大賀委員から「小児がん拠点病院について」、ご報告させていただきたいと考えておりますので、よろしくお願い致します。

本日は、限られた時間になろうかと思っておりますけれども、委員の皆様におかれましては、忌憚のないご意見をいただければと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

(司会)

続きまして、今年度新たに委員に就任された方をご紹介します。

まず九州大学病院がんセンターセンター長、馬場 英司委員です。

九州がんセンター緩和治療科医長、嶋本 正弥委員です。

福岡市保健医療局健康医療部地域保健課課長、藤井 未央子委員です。

もう一方、北九州市保健福祉局健康医療部健康推進課長、奥 栄治委員が新たに委員となられておりますが、本日ご欠席となっております。

また川口委員、後藤委員、作本委員、塚田委員、西田委員、星井委員、吉住委員については、所用によりご欠席とのご連絡をいただいております。

続きまして、事務局を紹介いたします。

保健医療介護部医監の佐野でございます。がん感染症疾病対策課企画課の川原でございます。同じく、参事の真子でございます。がん対策係長の大石でございます。

本日の議事内容につきましては、議事終了後、県のホームページへ掲載予定となっておりますので、ご了承いただきますようお願いいたします。

では議題の審議に当たりまして、事前に配布しております資料の確認をさせていただきます。

#### 〔配布資料の確認〕

(司会)

では議題に入る前に、本協議会の副会長についてお諮りいたします。

昨年度まで本協議会の副会長を務めていただいております、九州がんセンターの藤委員がご退任されましたので、福岡県がん対策推進協議会設置要綱第3条の3の規定に基づきまして、委員の互選で、副会長を選出いただくこととなります。

委員の方々から推薦等はございますか。

#### 〔委員等からの推薦なし〕

(司会)

推薦等がなければ、事務局としましては、がん診療連携協議会の代表であり、九州大学病院がんセンター長の馬場委員が適当ではないかと考えておりますが、いかがでしょうか。

よろしければ挙手をお願いします。

#### 〔全委員挙手〕

(司会)

ありがとうございます。では馬場委員、副会長いかがでしょう。

(馬場委員)

ご推挙いただきましてありがとうございます。喜んで受けさせていただきます。

(司会)

ありがとうございます。

では本協議会の副会長として馬場委員にご就任いただきたいと思います。よろしく願いいたします。

〔馬場委員副委員長席へ移動〕

(司会)

それでは、これからの議事進行につきましては、本協議会の会長であります蓮澤会長にお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。

(蓮澤会長)

本日の会議次第に沿って進めさせていただきます。

発言は、議長の指名に従ってお願いします。それでは早速議事に入ります。

「がん診療連携拠点病院等の推薦について」事務局から説明をお願いします。

〔事務局説明〕

(蓮澤会長)

ありがとうございました。ただいま説明がありました件につきまして、ご質問、ご意見等ございますでしょうか。ありましたら挙手をお願いします。

〔質問、意見なし〕

(蓮澤会長)

それでは事務局から説明がありましたとおり、2病院を推薦することとしてよろしいでしょうか。

(各委員)

異議なし。

(蓮澤会長)

それでは、事務局においては、厚生労働省へ推薦手続きを進めてください。

次に参ります。次は、報告事項の「福岡県のがん対策について」事務局から説明をお願いします。

〔事務局説明〕

(蓮澤会長)

今、事務局の方から福岡県のがん対策について、説明がございました。

説明の最後で、がん登録の利活用の推進について説明がありましたように、7月に直方市が、がん登録の情報利用の承認を得られました。

承認する際に、委員の皆様から他のところでも広げて欲しいという意見が出ております。このがん登録の利活用につきましては市町村でも活用できますよね。

(事務局)

はい。

(蓮澤会長)

そういったところで、多くのところで参考にさせていただければと思っております。

それでは、ただいまのご説明につきまして、ご質問、ご意見等ございましたら、挙手をお願いいたします。

(蓮澤会長)

いろんな柱をつけて、数字としてはだんだん増えてきていて、全体的に良い方向に行ってるような感じですね。

(事務局)

そうですね。

(蓮澤会長)

こういった中で市町村によって、支援があるところやないものがありますか。

(事務局)

そうですね。先ほどご説明させていただいた、アピアランスと小児 AYA 世代の在宅療養につきましては、市町村を経由した事業になっておりますので、市町村が実施していることが必要です。

ただ、今現在60市町村全部が実施しているものではございませんので、実施されてないところにつきましては、個別に連絡を取って、ご説明させていただき、実施に向けて取組をお願いしたいと思っております。

(蓮澤会長)

住んでいるところによって受けられたり、受けられないというのは、できるだけない方がいいんだろうと思います。

(深野委員)

がん教育のことについてです。14ページ、15ページに書いてありますけれども、がん対策推進企業等連携協定締結企業の女性従業員を対象に、がん検診の重要性などを学ぶ養成講座をオンラインで、令和4年7月27日と令和5年7月28日に開催されて、5400 人もの方が聴衆されてるという報告がありました。これは素晴らしいことだなと思います。対面で実施するとそんなに皆さん参加しません。

だから、この企画はすごく良いものだと思います。

それで、がん教育は子供だけではなくて、大人も必要だと常に感じています。

というのは、乳癌と言われた人が、知識がないまま治療を決断しないといけないということがあり、やっぱり少しでもがんの知識があると戸惑いが少ないのではないかと思います。

それで、思ったのですが、この事業は女性を対象にと書いてありますけれども、男性の従業員の方もやはり、がんになられる方もいらっしゃると思いますので、男性の方も対象に実施して欲しいです。

この前イオンモールで、がんのイベントがあったのですが、一般の人もやっぱりがんの知識を得るような方策が欲しいなということを感じた次第です。ぜひ教育を、大人の方にまで拡大して欲しいなと思います。

(蓮澤会長)

はい。ありがとうございます事務局からその点について何かございますか。

(事務局)

今回こちらの研修につきましては、男性も受けられております。

今後こういったところにつきましては、検討させていただきたいと思います。

(深野委員)

ありがとうございます。

(蓮澤会長)

他にはないですか。

(深野委員)

もう一ついいでしょうか。

(蓮澤会長)

はいどうぞ。

(深野委員)

がんになって、仕事を辞めた人も結構いらっしゃるの、再就職のことで相談がものすごくあると思

いますが、例えば相談者の何%ぐらいが就職に繋がったかというのはわからないでしょうか。

社会保険労務士に相談するのわかりますが、それが実際働くことに繋がってるかどうか。

結構、辞めたらほとんどが、就職できないです。やっぱり辞めざるを得ない人もいらっやって、ちょっと元気になったら働きたいと思っても、働く場所がないというのが、現状なので、何か対策がないかなと、常に私たちも悩んでるところです。

(蓮澤会長)

事務局どうぞ。

(事務局)

13 ページ目の専門家による相談支援の実施というところになるかとは思いますが、令和5年度の1,028件という中身は、がんになって辞められる方が、そのまま継続のための相談というものだけではなく、この中には、傷病手当とか、そういったお金の相談とかも含めての数字になりますので、その方が、相談をされて、そのまま継続されたとか、辞めたというところまで把握することは難しいと考えております。

ただ、やはり、就労するにあたっては、金銭的な問題とか、そういったところが必要だと思しますので、継続して実施していきたいと思っております。

(深野委員)

わかりました。

(蓮澤会長)

よろしいでしょうか。それでは次に参ります。

次は、報告事項の2、「小児がん拠点病院について」九州大学病院 大賀委員から説明をお願いします。

[大賀委員説明]

(蓮澤会長)

はい。ありがとうございました。

ただいま、小児がん拠点病院について、大賀委員から説明がありましたけれども、何かご質問、ご意見等ございませんか。

[質問、意見なし]

(蓮澤会長)

国及び県の計画の中でも小児がんについての医療体制の評価が挙げられているところです。  
引き続き、がん診療連携拠点病院と連携を図りながら、小児がん医療の充実に努めていかねばならないと思います。どうぞよろしくお願いいたします。  
ご意見、ご質問ございませんでしたので、次は、その他でございます。  
委員の皆様、事務局から何かございませんでしょうか。

〔質問、意見なし〕

(蓮澤会長)

それでは、本日予定しておりました議事は、全て終了いたしました。議事の進行を事務局にお返しいたします。委員の皆様におかれましては、議事の進行にご協力いただき、誠にありがとうございます。

(司会)

蓮澤会長ありがとうございました。  
また、委員の皆様におかれましては、長時間にわたり熱心なご討議をいただきまして、誠にありがとうございました。  
本日いただいたご意見を、本県の今後の対策に活かして参りたいと考えております。  
それではこれもちまして、令和6年度第1回福岡県がん対策推進協議会を終了いたします。  
本日は誠にありがとうございました。